

# 新ひだか町立病院コラム

## Vol. 48

### とある看護補助者の一日 (町立静内病院)

2010年診療報酬改定により「看護補助者」の配置に関する加算が新設され、近年「看護補助者」が注目を集めています。看護補助者は、看護師資格を持たないため医療行為は行いませんが、入院患者さんの食事介助やベッドメイキング、外来患者さんの誘導や書類整理、手術室の掃除や器具の滅菌など、幅広い業務で医療現場を支えています。今回は「看護補助者」の一日についてご紹介します。



### 栄養コラム～冬の始まり～

三石国保病院管理栄養士鈴木です。寒くなるとトイレが近く感じて困っていませんか？特に病氣と診断されていない場合、原因として次の3つが考えられます。

- 1 早めにトイレに行く習慣がある。  
膀胱に尿が溜まることがないため、膀胱が過敏になってしまい、負のスパイラルに陥っていませんか。(急に尿意をもよおす。でもまだそんなに時間は経っていないのに。) そんな方は自宅にいるとき、トイレを数分だけ我慢してみませんか。「なんだか、行かなくても大丈夫だった。」と自信がつかくかもしれません。
- 2 野菜から水分を取りすぎているかも。  
野菜の多くは、重さの90%以上が水分です。玉ねぎ 1/2 個・白菜の中葉 1 枚・きゅうり 1 本。この量でそれぞれ約 100ml の水分が摂れます。
- 3 頻尿につながる可能性のある食べ物のせいかも。  
(特にストレスの大きい時。試しに摂取を控えてみたら、あっさり解消することも。) 酸味の強い食品(酢・トマト・グレープフルーツ・レモン・ヨーグルト等)・ 熟成食品(納豆・たらこ・筋子・チーズ・ワイン等)・嗜好品や刺激物(チョコ・コーヒー・コーラ・炭酸飲料・唐辛子等)

### 【冬のオススメ】

#### その1

寒い日は生姜がオススメ。薄切りやすり下ろしにして、お湯やホットミルクに入れたり、生姜を加えた鶏団子入り具沢山味噌汁で体を温めませんか。

#### その2

空気が乾燥する冬は、皮膚や呼吸からの不感蒸泄が多く意外と脱水しやすい季節です。指先の乾燥や倦怠感が気になりますか？脱水予防には、寝る前にコップ1杯の水を数分かけてゆっくり飲むのが効果的。

### 院長のつぶやき

院長の小松です。今回は看護補助者のお仕事について触れます。

看護補助者とは、今年の初め某テレビ局のドラマでもありましたが、別名『ナースエイド』とも呼ばれ、病院やクリニック、介護施設などで看護師のサポートを行います。厚生労働省での役割の定義は「看護補助者は、看護師長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話(食事、清潔、排泄、入浴、移動等)のほか、病院内の環境整備、ベッドメイキング、看護用品及び、消耗品の整理整頓等の業務を行うこととする」とあります。つまり看護師と一緒に入院患者さんの身の回りの世話をし、患者さんが少しでも快適な入院生活を送れるように、お食事・入浴・排泄・移動等の介護業務を中心に行い、ときおり患者さんの話し相手になったりもします。医療行為にあたる業務はありませんので、医療業界未経験の方はもちろん、将来看護師になりたい方も大歓迎です。

現在は、看護師が講師になり、未経験の方の基準に

合せたレベルでの研修会や指導を行っています。

当院でも看護補助者を経て看護師の資格を取得した職員もおり、将来看護師へキャリアアップしたい方へのサポート体制もあります。

興味のある方は一度、病院を訪ねてみてください。

作成: 新ひだか町立病院

❁ 町立静内病院 ☎42-0181 (代表)

新ひだか町静内緑町4丁目 5-1

❁ 三石国保病院 ☎33-2231 (代表)

新ひだか町三石本町 214 番地